

13Cr11Ni2W2MoV

化学成分、機械的・物理的特性値、および 1 地域にわたる 1 件の規格名称。

弾性率 196 GPa	他規格での名称 1 地域	特性値 14 収録
-----------------------	------------------------	---------------------

化学成分

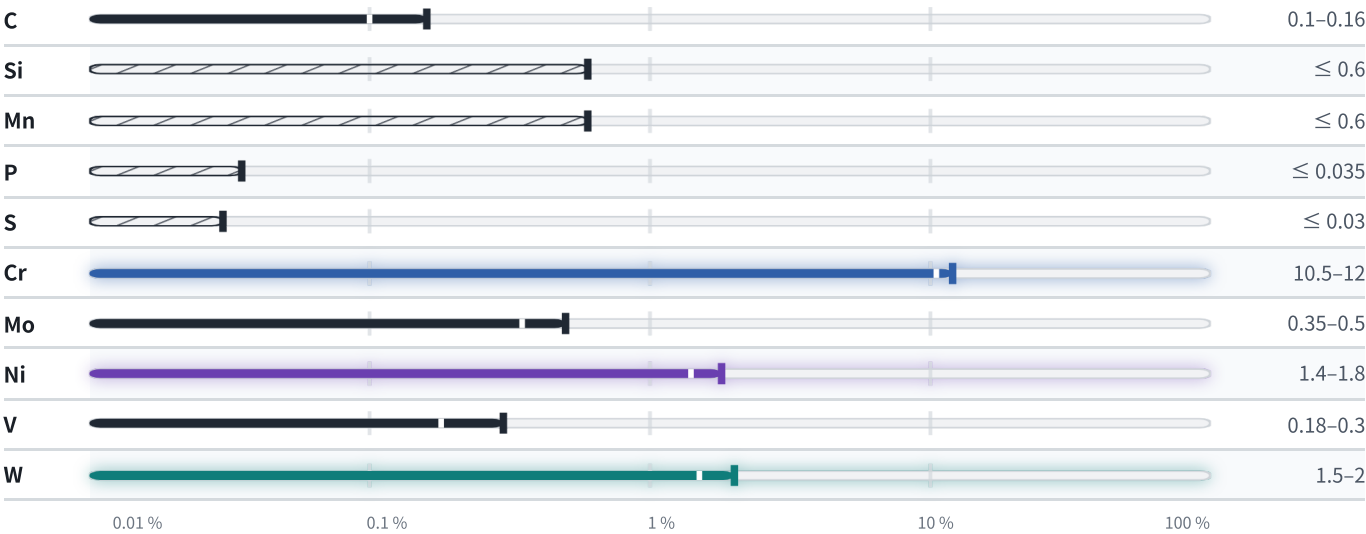
質量分率 (%)

この合金の正体



● 鉄 — 残部であり、いかなる規格にも記載されません — 83.3 % ● Cr — 11.3 % ● W — 1.8 % ● Ni — 1.6 % ● 微量元素・不純物・2.1%

対数スケール (0.01 %~100 %) — ここに示す値はすべて桁ごとに直接比較できます。



この目盛りは対数であり、合金に占める元素の生の割合ではありません。0.01%と100%を一枚の図に正直に収める唯一の方法であり、ここに示すどの値も互いに比較できることを意味します。

予測変態温度

この鋼種の成分は、公表モデルの検証範囲（低合金組成の範囲）を外れているため、ここでは変態温度を予測していません。

物理的性質

4 件

状態・寸法	E GPa	ALPHA 10^-6/K	LAMBDA W/(m・K)	CP J/(kg・K)
20	200	—	—	—
100	195	9.3	22.2	—
200	185	10.3	—	—
300	175	10.8	—	—
400	170	11.3	—	—
500	—	11.7	28.1	480

項目	値	単位
縦弾性係数	196	GPa
熱膨張係数	9.3	10^-6/K
熱伝導率	20.9	W/(m・K)
比熱容量	480	J/(kg・K)

熱処理

2 種の条件

工程	温度	冷却媒体
source joins the operations with + / procedural order		
焼ならし	1000–1020 °C	—
焼戻し	温度の記載なし	—
時効処理	660–710 °C	—
source joins the operations with + / procedural order		
焼ならし	1000–1020 °C	—
焼戻し	温度の記載なし	—
時効処理	540–590 °C	—

各規格での名称

1 件の名称 · うち 1 件は同一と確認

中国	1
13Cr11Ni2W2MoV 本鋼種固有の名称	gb

ご利用にあたって。本データは、公開されている規格およびメーカー資料から可能な限り正確にまとめたものです。材料試験や EN 10204 に基づく検査文書に代わるものではありません。EN 10204 2.1、3.1 または 3.2 によるミルシートは、お問い合わせの際に併せてご請求ください。常に現行版の規格が優先されます。

13Cr11Ni2W2MoV に関するお問い合わせ

お見積り、在庫、ミルシート、技術的なご質問 — 材料ページから直接どうぞ。

お問い合わせを始める

オンライン版データシート	材料検索	材料番号	発行
材料ページを見る	すべての材料を検索	—	2026/08/19